

神経科学・神経筋肉生理学セミナー

日時：令和3年7月1日（木曜日）18時30分～

場所：Web セミナー（Zoom）

演題：炎症性疾患に於けるIL-17A/Fの役割

The roles of IL-17A/F in the development of inflammatory diseases

演者：岩倉 洋一郎 先生

東京理科大学生命医科学研究所 教授

<抄録>

IL-17AおよびIL-17Fは炎症性サイトカインの一つで、共にTh17から産生され、50%のホモジマーを持ち、ヘテロダイマーを形成するほか、共通の受容体に結合することが知られている。しかし、最近、これらのサイトカインはTh17以外に $\gamma\delta$ T細胞やILCからも産生され、それぞれ独立の受容体に結合することも報告されている。これらのサイトカインはいずれも細菌や真菌に対する感染防御で重要な役割を果たす他、乾癬の病態形成においても重要な役割を果たしており、IL-17A、あるいはその受容体に対する中和抗体は乾癬治療に著効を発揮することから注目を集めている。本セミナーでは自己免疫性の関節炎や、大腸炎、皮膚炎などの病態形成において、これらのサイトカインの果たす役割について紹介すると共に、その作用の異同について議論したい。

主催・連絡先：藤谷 昌司 解剖学（神経科学）講座

TEL：0853-20-2109

E-mail：fujitani@med.shimane-u.ac.jp

大学院博士課程 対象科目

基礎医科学（D3）

発生生物学I（D15）

細胞間情報伝達学I（D49）

生体機能測定学II（D58）

組織・器官系の構造と機能I（D8）

神経科学III（D47）

生体システム学I（D55）

細胞生物学I（D6）

担当教員

解剖学（神経科学）

教授 藤谷 昌司

准教授 横田 茂文

生理学（神経筋肉生理学）

准教授 桑子 賢一郎

Web開催のため受講希望者は
解剖学（神経科学）講座 宮嶋 久雄

（内線：2109） miyajima@med.shimane-u.ac.jp までメールをお願いします。